

第1回北区新庁舎にぎわい創出有識者会議 概要

- 日時 令和6年3月18日(月) 13:30~16:30
- 場所 北区役所 第一庁舎 庁議室
- 次第
 - 1 開会
 - 2 委員長、副委員長の選出
 - 3 委員長挨拶
 - 4 議事
 - (1) 会議の運営方法
 - (2) 各委員の自己紹介
 - (3) 新庁舎基本設計にぎわい創出提案の説明
 - (4) にぎわい創出業務の進め方の説明
 - (5) 事例調査結果報告 ~中間報告~
 - 5 事務連絡
 - 6 閉会

- 会議概要

- 1 開会
- 2 委員長、副委員長の選出

○ 委員長として時岡委員、副委員長として山村委員が選出された。

3 委員長挨拶

4 議事

(1) 会議の運営方法

- 事務局から、会議の運営方法について説明があった。

(2) 各委員の自己紹介

- 出席委員が自己紹介を行った。

(3) 新庁舎基本設計にぎわい創出提案の説明

- 設計者から、新庁舎基本設計の提案について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 早い段階で、民間開発、基盤整備を含めた議論を深める必要がある。人の顔が見えるレベルの話についても有識者会議で掘り下げたい。
 - ・ テリトリーオという考え方がこの場所に適している。何とか実現したい。その中でモビリティの課題がある。エリア内はバスが多い。将来的にスローモビリティが走行することも念頭に、車両や人がどこから発生し、どこへ向かい、どのような問題が発生しうるか仮想定するべきだ。
 - ・ 駅も含めたジオガーデン、ウォークブル・ガーデンの将来像など、今回の計画は動線が重要なテーマであり、周辺環境、交通も含めた、まち全体の検討が必要だ。また、将来の変化に対応できるよう、広場のような都市の余白を設けることが重要である。
 - ・ (設計者) 民間開発との連携が一番の懸案事項。そのための「基本コンセプトまとめ」を早期に作成することが重要である。

(4) にぎわい創出業務の進め方の説明

- 設計者から、新庁舎基本設計の提案について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 「基本コンセプトまとめ」までに、設計与件を整理するべきだ。1番は貫通道路、2番は明治通りが切り離された場合の駅前空間と都電駅の周辺の在り方、3番目は防災・バリアフリーネットワークについて詳細が必要だ。

- ・ ビッグデータ分析は、結果の活用方法や、ワークショップとの連携も検討するべきだ。
- ・ ビッグデータは、日常使いする商業施設と、そうではない商業施設に分けて人流を分析し、車の流れと重ねてみてはどうか。また、区役所に現在来ている人たちの潜在ニーズについて、聞き取り調査をしてはどうか。
- ・ 次回有識者会議までに、「基本コンセプトまとめ」のアウトプットのイメージを統一したい。

(5) 事例調査結果報告 ～中間報告～

- にぎわい受注者から、事例調査結果報告について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 何をするか定められていない場所、余暇的なものが実現しうる空間など、機能に還元されない空間の事例を収集してはどうか。
 - ・ 北区にとってのメリットであるインナーバリューと、利用者にとってのメリットであるアウトバリューの2つを設定する必要がある。また、仕入れのトラックの荷捌き場なども含め、既存部と新街区との中で新しい商売が生まれるようなエコシステムについて検討するべき。
 - ・ 「王子駅前まちづくり整備計画」はどの程度の解像度のものに更新する想定か。解像度が高ければ並行して議論していきたい。
 - ・ 「基本コンセプトまとめ」までには、機能を限定しすぎず、少しずつ決めていく方が現実的だと考えられる。
 - ・ 基本設計を進めるにあたり、新庁舎の正面や接続する道路の検討は重要であり、並行して議論していきたい。

5 事務連絡

- 事務局から、以下のように説明があった。
 - ・ 第2回有識者会議は5月の下旬に実施。
 - ・ オンラインアンケートは4月から開始する。進捗状況を共有しながら進める。

6 閉会